

市民公開講座「がんの検診から治療まで」を開催しました

平成 29 年 1 月 12 日（木）の午後 2 時から 4 時まで、多摩総合医療センター講堂で、東京都がん検診センター主催の「がんの検診から治療まで」と題した、市民公開講座を開催しました。

代表的ながん検診である、肺がん、胃がん、大腸がんについて、がん検診の概論と肺がんについて当センターの笹野呼吸器内科部長に、胃がん、大腸がんの検診や内視鏡治療について入口消化器内科部長に、胃がんの腹腔鏡手術や最新治療について多摩総合医療センターの今村外科部長に、それぞれ講演していただきました。

当日は、多摩地域の 13 市、東京都区部、都外から、計 82 名の方が参加されました。みなさんからは、「がん検診の大切さを改めて認識しました」、「がん検診を定期的に受けようと思います」といったご意見を多数いただきました。

国や東京都は、がん検診受診率 50%を目標としていますが、未だ目標に達していません。定期的ながん検診を受けることで、がんを早期に発見し、がんによる死亡を減らすことができます。

東京都がん検診センターは、がん検診の受診率向上と、普及啓発に尽力しています。各種がん検診の方法、受診のしかた、また各種がんドックについて、当センターのホームページに詳しく載っていますので、ぜひ参考にしてください。

所長 富山順治



受講の様子（東京都立多摩総合医療センター 講堂フォレストにて）